



# OPROARTS Connector for Salesforce

## ユーザーガイド (メールテンプレート)

Ver.1.1

## 改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/29	新規作成
1.1	2021/09/06	OPROARTS Designerへのログイン方法について追記
1.2	2025/09/01	4.1 接続アプリケーションのインストールについて追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中にTMマーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for Salesforce をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[ ]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

1.はじめに.....	5
2.全体の流れ.....	6
3.テンプレートの作成.....	7
4.項目のマッピング .....	10
4.1    1st Salesforceへのログイン.....	10
4.2    2nd 起点オブジェクトの選択.....	11
4.3    3rd 明細オブジェクトの選択.....	11
4.4    4th 明細オブジェクトの詳細.....	12
4.5    5th 関連する子オブジェクトの選択 .....	13
4.6    6th メール内容とマッピング .....	14
4.7    メールテンプレートの配備と添付する帳票のテンプレート選択 .....	15
5.メール送信アクションの作成.....	17
5.1    詳細ページにメール送信アクションを配置する .....	17
5.2    リストページにメール送信アクションを配置する .....	23

# 1. はじめに

ここでは Connector for Salesforce で利用できるメールテンプレート機能の概要について説明します。

メールテンプレート機能は、特定のオブジェクトをデータ元として生成した帳票を添付したメールを Salesforce のレコード画面から送信できる機能です。

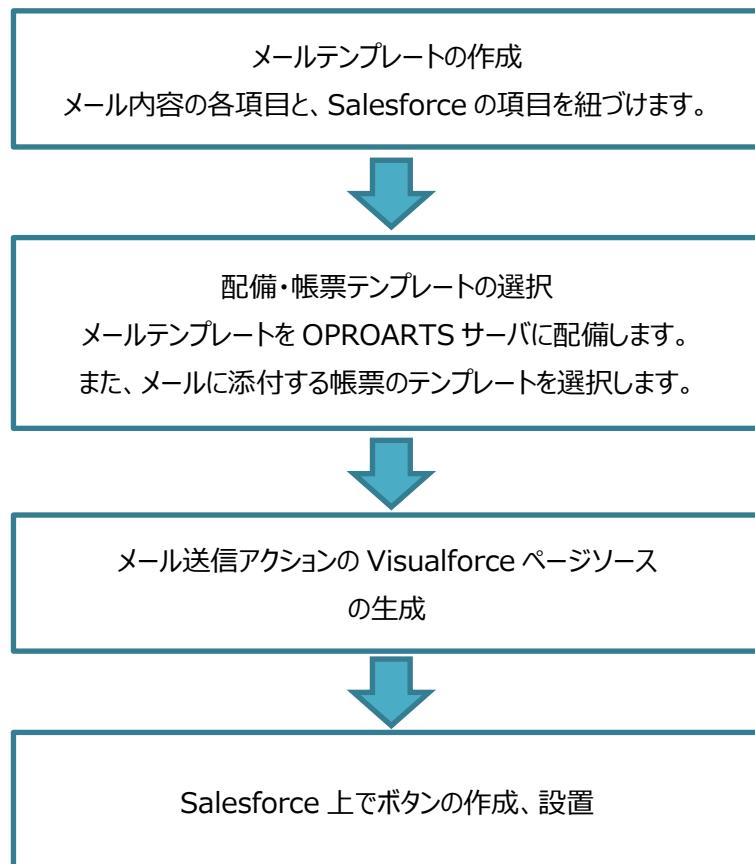
以下のようなメールが送信できます。



※本ユーザーガイドでは、メールテンプレートの作成方法についてのみ説明します。メールに添付する帳票のテンプレート作成については、「OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド(PDF/ヘッダー明細)」をご参照ください。

## 2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで文書を添付したメール送信が可能になります。



# 3. テンプレートの作成

送信するメールのテンプレートを作成します。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票が添付されたメールを送信するためのテンプレートを作成します。

見積書 Q-00000001 2019/06/28

サンプル取引先 御中

下記の通りお見積申し上げます。

デモ商事株式会社  
〇〇県〇〇市  
〇〇1-1-1 〇〇ビルズ  
11-1111-1111 / 11-1111-1112  
担当 : docutize dev

製品名	単価	数量	金額
SLA: Bronze	10.000	100	1.000.000
SLA: Gold	30.000	100	3.000.000
SLA: Platinum	40.000	100	4.000.000
SLA: Silver	20.000	100	2.000.000
合計			10.000.000
消費税			800.000
総合計(税込)			10.800.000

サンプルデータです。

Page 1

特定のオブジェクトからボタン一つで、そのオブジェクトをデータ元とする帳票を添付したメールが送信できます。

本ユーザーガイドでは、商談オブジェクトをデータ元として見積書を生成し、それを添付したメールを送信する場合を考えます。

OPROARTS Designer (にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



**Point**

セットアップガイドの「3.1 「LAD」ライセンスの登録」の設定ができていれば、「OPROARTS」タブの画面に[START]ボタンが表示されます。  
そちらをクリックすることで、ログイン可能です。

文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

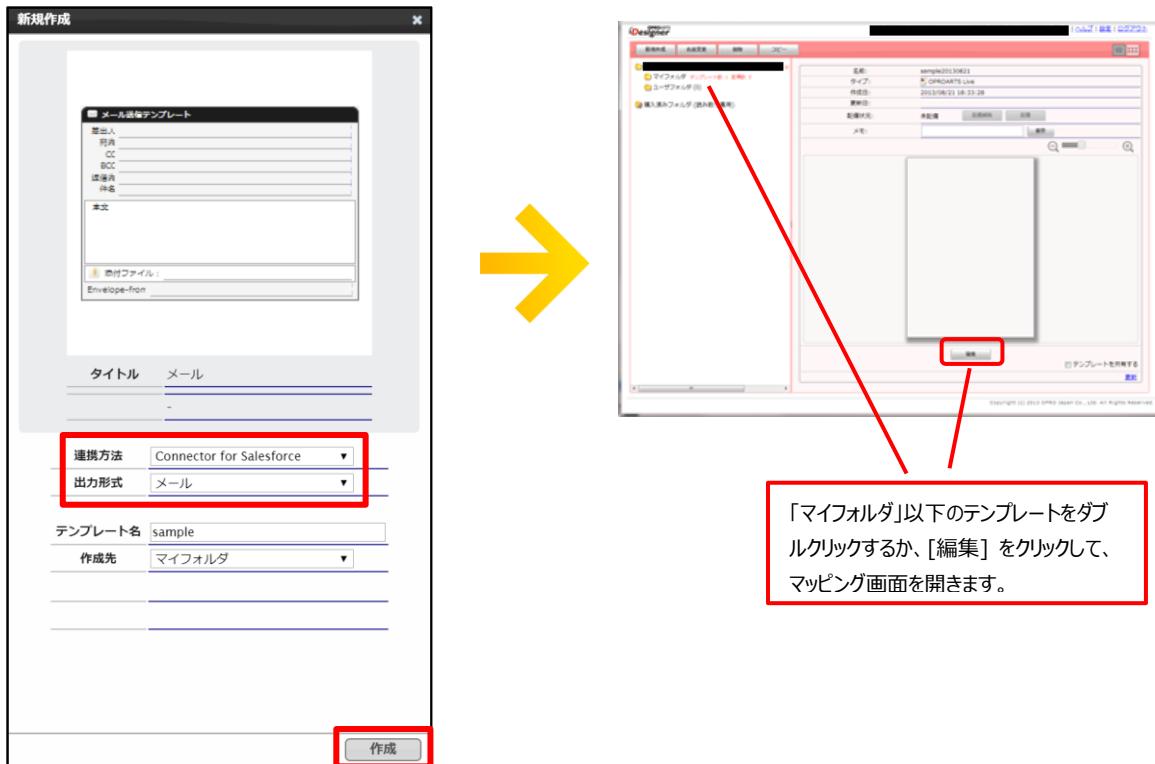
1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタム

ここでは、[メール] タブで「メール」を選択します。

連携方法「Connector for Salesforce」、出力形式「メール」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連續していない



# 4. 項目のマッピング

メールテンプレートに Salesforce の項目をマッピングします。

## 4.1 1st Salesforceへのログイン

メールに添付される文書のデータ元となるオブジェクトレコードが存在する Salesforce 組織へログインします。



### 注意

「新たにログイン」をクリックした場合、OAuth 認証が行われます。

以下の手順に沿って、**接続アプリケーションのインストールを必ず行ってください。**

[接続アプリケーションのインストール\(OPROARTS Designer\)](#)

※接続アプリケーションのインストールを行わないと、OPROARTSDDesigner を使用できなくなります。

## 4.2 2nd 起点オブジェクトの選択

メール送信ボタンを設置するオブジェクトを選択します。

ここでは商談オブジェクトを指定します。

メール送信で使用するオブジェクトを選択します

- オブジェクトの選択

OPROARTS Live では、Salesforce.com のトップレベルオブジェクトの内容（「フィールド」「参照関係にあるオブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」）をメール送信の内容として使用できます。このステップでは、使用するトップレベルオブジェクトを決定します。

- オブジェクトツリー

Salesforce.com 上の組織のオブジェクト一覧がツリー表示されます。メール送信で使用するオブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 1st ステップでログインしたユーザの権限で参照可能

- デザインビュー

メールの送信内容イメージが表示されます。表示メニューよりイメージの表示倍率を指定できます。また、ウィンドウをリサイズして任意の倍率で表示する事も可能です。

+ ハイライト表示 現在のステップの操作で対象となる項目がハイライト

## 4.3 3rd 明細オブジェクトの選択

2nd で選択したオブジェクトの子オブジェクトを選択可能です。

ここでは「宛先に子オブジェクトを使わない」を選択し、「次へ」をクリックします。

宛先で使用する子オブジェクトを選択します

- 子オブジェクトの選択

OPROARTS Live では、トップレベルオブジェクトの子オブジェクトの内容（「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」）を、宛先（To、CC、BCC）として使うことができます。このステップでは、メール送信で使用する 1st ステップで選択されたトップレベルオブジェクトの子オブジェクトを選択します。

宛先に子オブジェクトを使わない

2nd ステップで選択されたオブジェクトのフィールド、および、参照オブジェクトのフィールドを宛先に使用する場合にチェックしてください。この場合、複数の宛先に対して一齊にメール送信を行うことはできません。（最大で、To、CC、BCC に指定された3件への送信を行えます）

- オブジェクトツリー

2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が定義されている子オブジェクト一覧がツリー表示されます。宛先に使用する子オブジェクトを選択してください。

+ ツリー表示 2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が

- デザインビュー

メールの送信内容イメージが表示されます。表示メニューよりイメージの表示倍率を指定できます。また、ウィンドウをリサイズして任意の倍率で表示する事も可能です。

+ ハイライト表示 現在のステップの操作で対象となるコンポーネントが

#### 4.4 4th 明細オブジェクトの詳細

明細データの表示順や抽出条件を指定します。

(ここでは「宛先に子オブジェクトを使わない」を選択したので、スキップされます)

宛先で使用する子オブジェクトの詳細を設定します。

- 宛先オブジェクトの詳細

OPROARTS Live では、宛先オブジェクト(3rd ステップで選択されたトップレベルの子オブジェクト)のレコードに基づいて、複数の宛先へのメール送信が行われます。送信先を制限したい場合は「抽出条件」を、送信の順序を指定したい場合は「並べ替え」を指定してください。

並べ替え  
「並べ替え」が無指定の場合、送信順は不定となります。

- オブジェクトツリー

3rd ステップで選択された子オブジェクトの内容(「子オブジェクトのフィールド」「子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」)、抽出条件指定エリア、並べ替え指定エリアが表示されます。

+ ツリー表示 3rd ステップで選択された子オブジェクトの内容(「子:  
+ 抽出条件 送信先を制限したい場合、チェックボックスをチェック  
+ 並べ替え 送信順を指定したい場合、チェックボックスをチェック

ここでは明細の並べ替えで商品名を昇順指定しています。

並び替え対象の項目を「並び替え」の欄にドラッグ & ドロップしたのち、

昇順: ASC

降順: DESC

を末尾に追加することで指定可能です。

## 4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択

2nd で選んだオブジェクトの関連レコードで、使用したいオブジェクトを選択します。

今回の例では何も選択せず、「次へ」をクリックします。

The screenshot displays the PROARTS Live interface for selecting child objects. The top navigation bar shows steps 1st through 6th, with '5th' highlighted. The main area is titled '関連する子オブジェクトを選択します' (Select child objects).  
Left Panel (List of Objects):

- 関連する子オブジェクト
- OPROARTS Live では、トップレベルオブジェクトの子オブジェクトの内容（「主従関係にある子オブジェクトのフィールド」「主従関係にある子オブジェクトと参照関係にあるオブジェクトのフィールド」）を、集計値としてメールの内容に埋め込むことができます。  
このステップでは、関連する子オブジェクトとして使用する 2nd ステップで選択したトップレベルオブジェクトの子オブジェクトを選択します。
- 2nd ステップで指定した宛先オブジェクトは関連オブジェクトに指定できません。
- オブジェクトツリー
- + ツリー表示 2nd ステップで選択されたオブジェクトと主従関係が表示されます。
- + 抽出条件 集計に利用する内容を制限したい場合、チェックボックスを選択してください。
- + 並べ替え 集計処理における並び順を指定したい場合、チェックボックスを選択してください。

  
Right Panel (Detailed List of Child Objects):

- 表示ラベル API参照名
- 商談
- 子オブジェクト
  - AccountPartners
  - ActivityHistories
  - Attachments
  - ContentDocumentLinks
  - FeedSubscriptionsForEntity
  - Events
  - Notes
  - NotesAndAttachments
  - OpenActivities
  - OpportunityCompetitors
  - OpportunityContactRoles
  - Feeds
  - Histories
  - OpportunityHistories
  - OpportunityLineItems
  - OpportunityPartnersFrom

## 4.6 6th メール内容とマッピング

マッピングを行います。以下の値を指定可能です。

[2nd][3rd]で選んだオブジェクトと、演算子・関数を使用して指定可能です。

The screenshot shows the 'Field Mapping' step (6th) of the mapping wizard. On the left, a sidebar lists steps: 1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th (highlighted in orange), and 完了 (Completed). The main area displays the 'Salesforce.com' interface with the following details:

- 表示ラベル**: API参照名
- コンポーネント** (From, To, CC, BCC, ReplyTo, Subject, Body) are mapped to their respective Salesforce fields.
- データ** (Body) is set to 'Opportunity.Account.Name || '様見積書'.
- フォーマット** (Body) is set to '見積書です。'.
- 式** (Body) is shown as an expression: エクスプレッション (OPROARTS Live で使える式(エクスプレッション)が表示されています).
- ツリー表示** and **ソリューション表示** buttons are present.
- フィールドマッピング** panel on the right shows the mapping configuration.
- デザインビュー** panel at the bottom shows the mapping template.

A detailed view of the 'Field Mapping' table:

コンポーネント	データ	フォーマット
From	'sender.sample@gmail.com'	
To		
CC		
BCC		
ReplyTo		
Subject	Opportunity.Account.Name    '様見積書'	
Body	'見積書です。'	

From : 差出人のメールアドレスに使用する項目を指定します。

To :宛先のメールアドレスに使用する項目を指定します。

CC : cc に使用する項目を指定します。

BCC : BCC に使用する項目を指定します。

ReplyTo : 返信先を指定します。

Subject : メールの件名を指定します。

Body : メールの本文を指定します。

## 4.7 メールテンプレートの配備と添付する帳票のテンプレート選択

マッピングが完了したら[次へ]をクリック、その後[保存]をクリックし、

コンポーネント	データ	フォーマット
From	'sender.sample@gmail.com'	
To	[Redacted]	
CC		
BCC		
ReplyTo		
Subject	Opportunity.Account.Name    '見積書'	
Body	'見積書です。'	

テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートをメール送信に使用できる状態にします。

メールテンプレート配備ウィザード

メールテンプレートの配備

OPROARTS サーバにメールテンプレートを配備します。テンプレートは「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」「テンプレート名」をキーに配備されます。配備完了後、OPROARTS サーバからのメール送信が可能となります。

配備ボタンのクリックで、 [Redacted] テンプレートを配備します。

配備

メールプレビュー

※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点がメール送信に反映されません。

メールに添付する帳票のテンプレートを選択し、[<]ボタンで追加します。



# 5. メール送信アクションの作成

Salesforce のレコード画面からメール送信するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から Connector for Salesforce でメール送信をするためには、メール送信をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

ここでは、1. 詳細ページにメール送信アクションを配置する場合と、2. リストページにメール送信アクションを配置する場合を説明します。

## 5.1 詳細ページにメール送信アクションを配置する

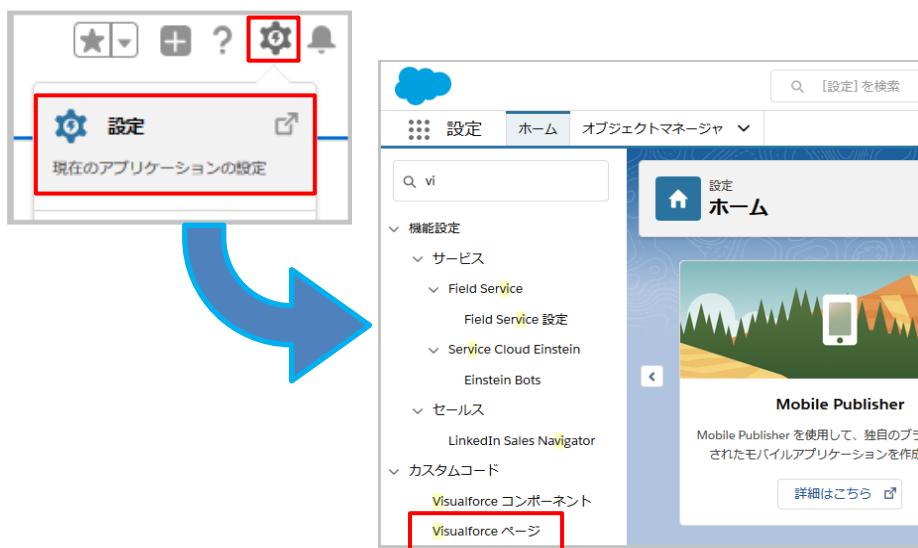
1. [こちらのページ](#)より、「(Connector) Lightning 用詳細ページ向けボタン.txt」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルの内容を以下のように書き換えます。
  - ・1 行目、52 行目の『オブジェクト名』を、ボタンを置くオブジェクトの API 参照名に変更
  - ・27 行目の『メールに添付するテンプレート名』を、帳票テンプレート名に変更
  - ・60 行目の『メールテンプレート名』をメールテンプレート名に変更
3. 変更したファイルの内容を全選択してコピーします。

```
<apex:page showHeader="false" sidebar="false" standardStylesheets="false" standardController="Opportunity">
<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/js/jquery-1.12.4.min.js" />
<apex:includeScript value="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.32.js" />
<script type="text/javascript">
$(document).ready(function() {
    output();
});

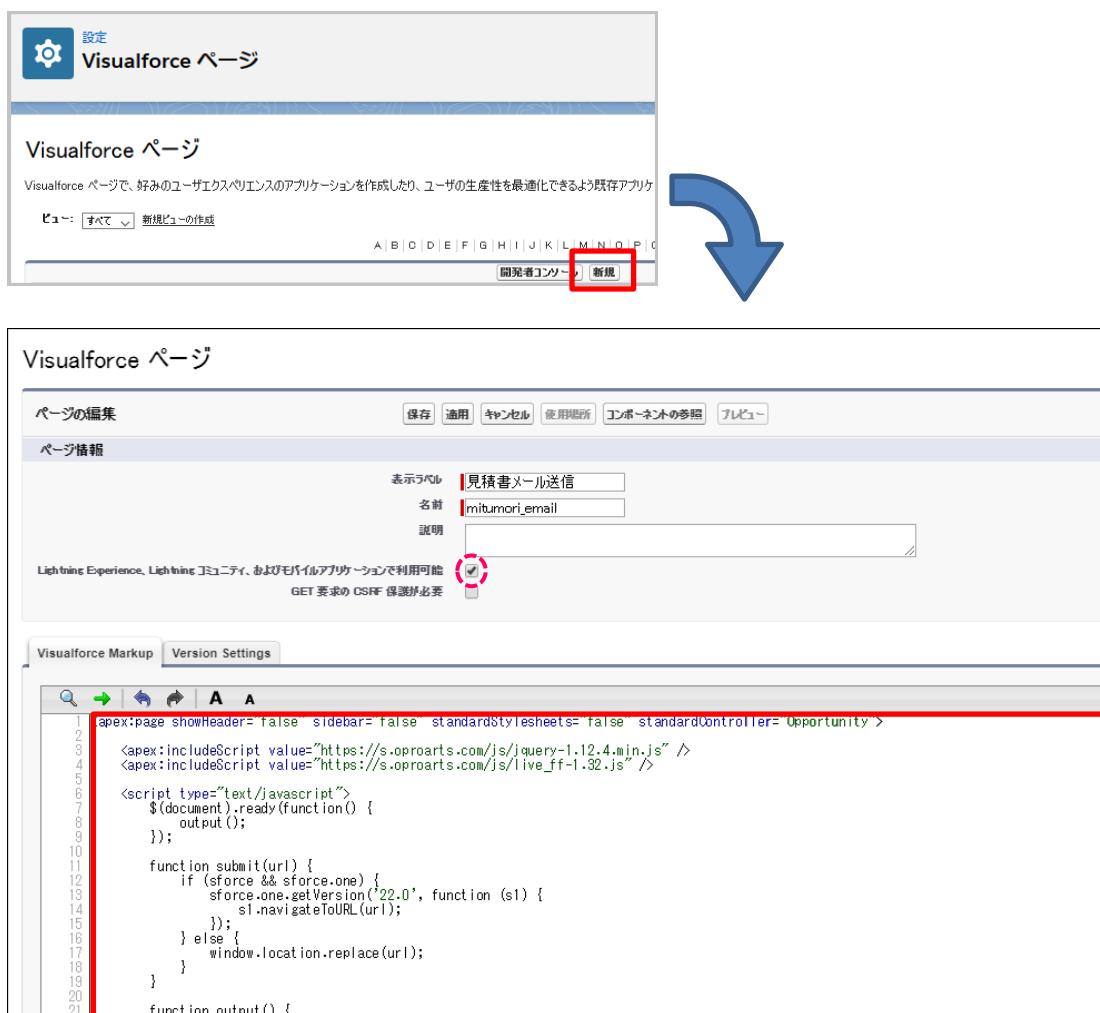
function submit(url) {
    if (sf.force.one) {
        sf.force.one.getVersion('22.0', function(s1) {
            s1.navigateToURL(url);
        });
    } else {
        window.location.replace(url);
    }
}

function output() {
    var url = OPROARTS.Live.fAction();
    // tp_ 配信済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
    // このパラメータを省略することはできません。
    tp:[
        'simple_quotation_for_manual_sf'
    ];
    // fe_ フォントの埋め込みかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
    // 実行するメソッドが 'toBuildUrl().pdf' または 'toBuildUrl().pdfPreview()' の場合に有効です。
    // また、テンプレートで埋め込み可能なフォントが使用されている必要があります。
    fe:false,
    // createsAttach: 作成されたドキュメントをオブジェクトに添付するかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
    // 添付できないオブジェクトの場合、このパラメータを true で指定しないでください。
    createsAttach:false,
    // createTask: 作成されたドキュメントを活動履歴に登録するかどうかを指定します。true もしくは false で指定します。
    // 活動履歴に登録できないオブジェクトの場合、このパラメータを true で指定しないでください。
    // このパラメータに true を指定した場合、次の追加パラメータを指定することができます。
    // - taskSubject: 活動履歴の件名
    // - taskComment: 活動履歴のコメント
    // 無指定の場合は、システムの初期値が適用されます。
    createsTask:false,
    // title: ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名を指定します。
    title:"",
    // objectId: 帳票オブジェクトのIDを指定します。
    objectId:'!JSENCODE(Opportunity.Id)'
    // OPROARTS Live - Force.com API による重複パラメータです
}
```

4. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



5. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



## 表示ラベル(例)

見積書メール送信

## 名前(例)

mitumori\_email

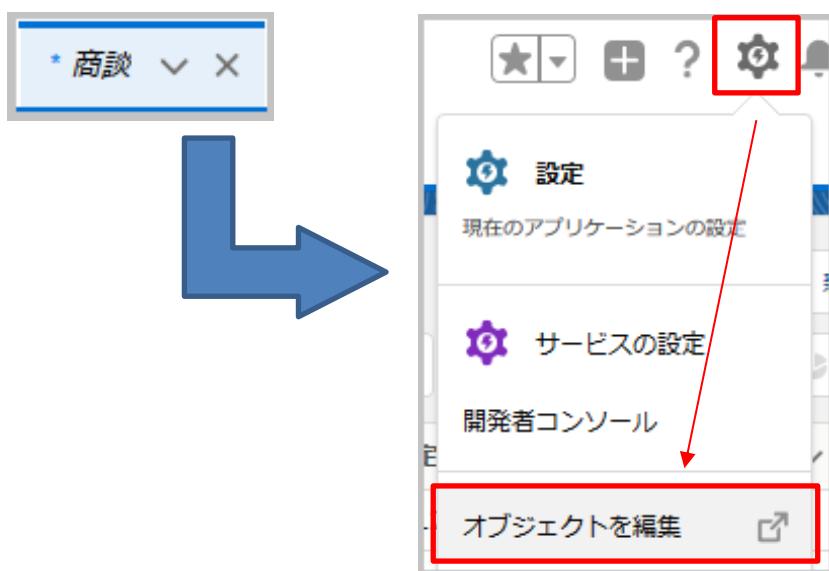
## 「Lightning Experience～」

チェックを入れる

## 内容

3 でコピーした内容

- アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



- [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



8. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション  
新規アクション

アクション情報を入力

オブジェクト名 商談 [i](#)

アクション種別 カスタム Visualforce [▼](#)

Visualforce ページ 見積書メール送信 [mitumori\_email] [i](#)

高さ 250 ピクセル [i](#)

標準の表示ラベル種別 --なし-- [▼](#) [i](#)

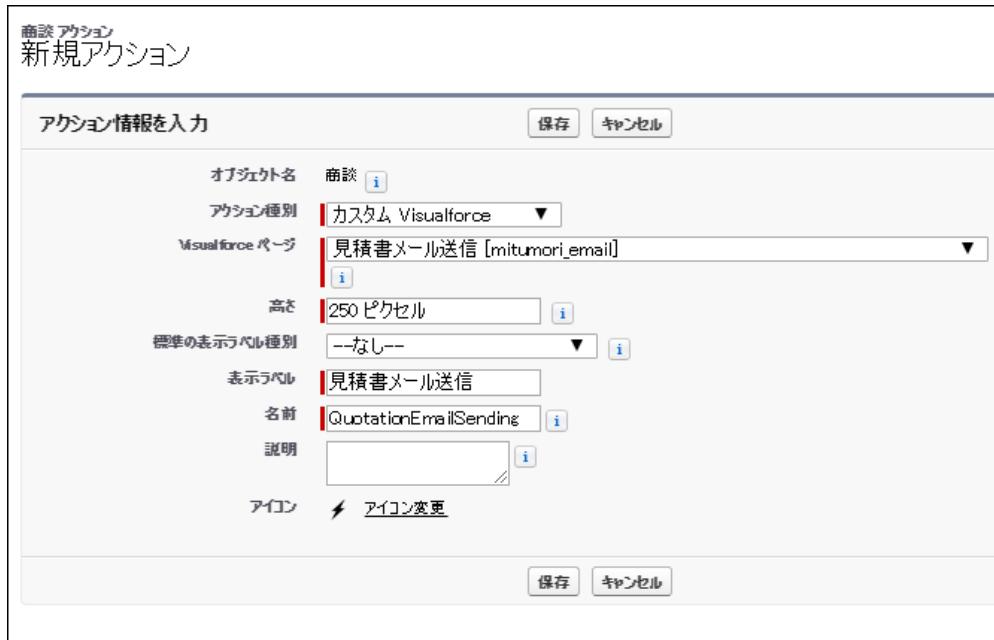
表示ラベル 見積書メール送信

名前 QuotationEmailSending [i](#)

説明

アイコン [⚡](#) [アイコン変更](#)

保存 キャンセル



### アクション種別

カスタム Visualforce を指定

### Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

### 高さ

変更なし

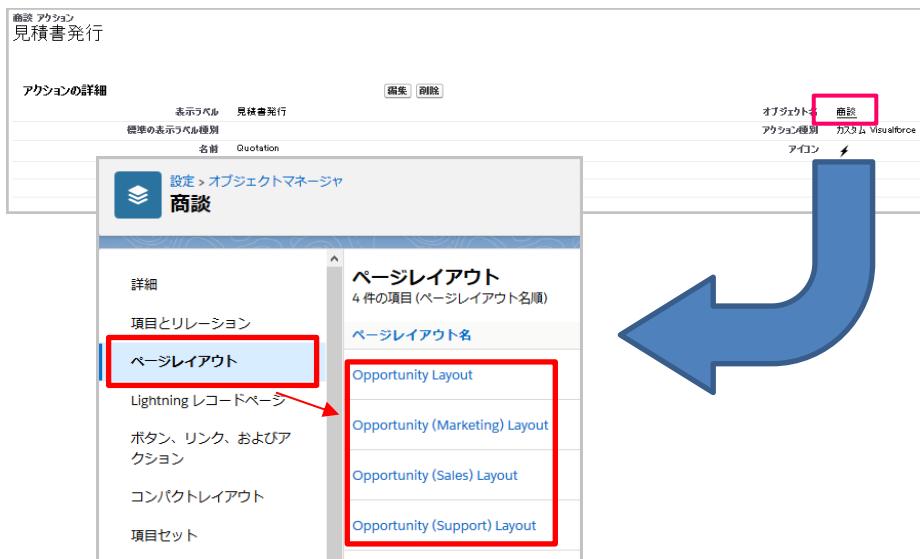
### 表示ラベル(例)

見積書メール送信

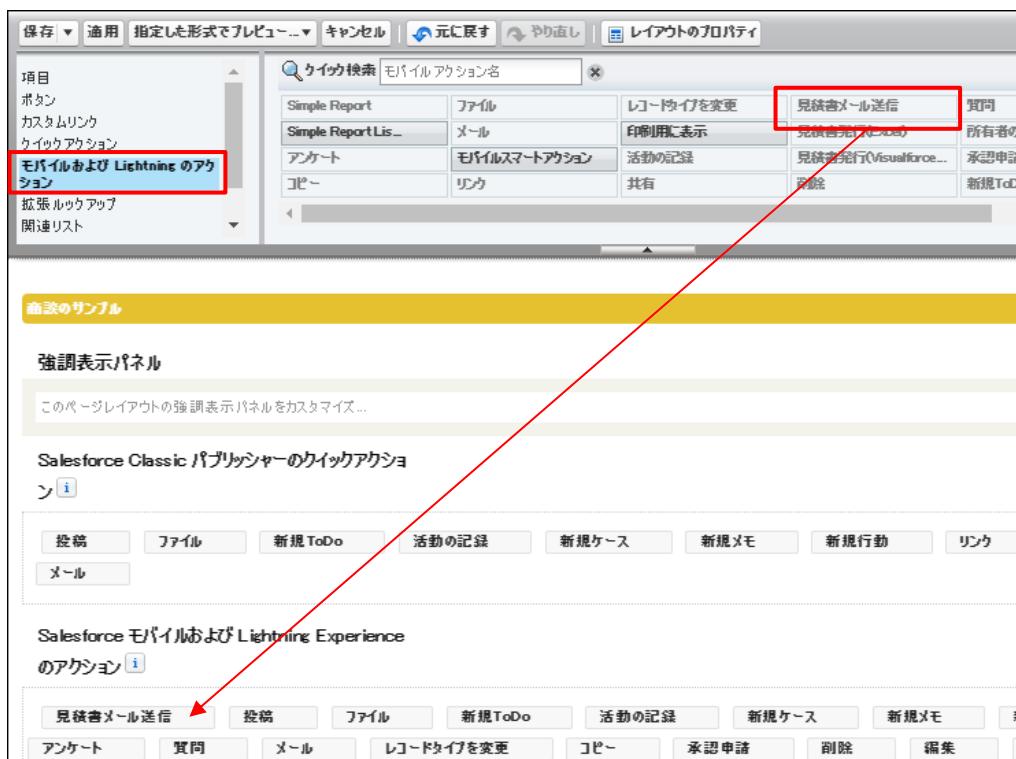
### 名前(例)

QuotationEmailSending

9. 設定>オブジェクトマネージャ>商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



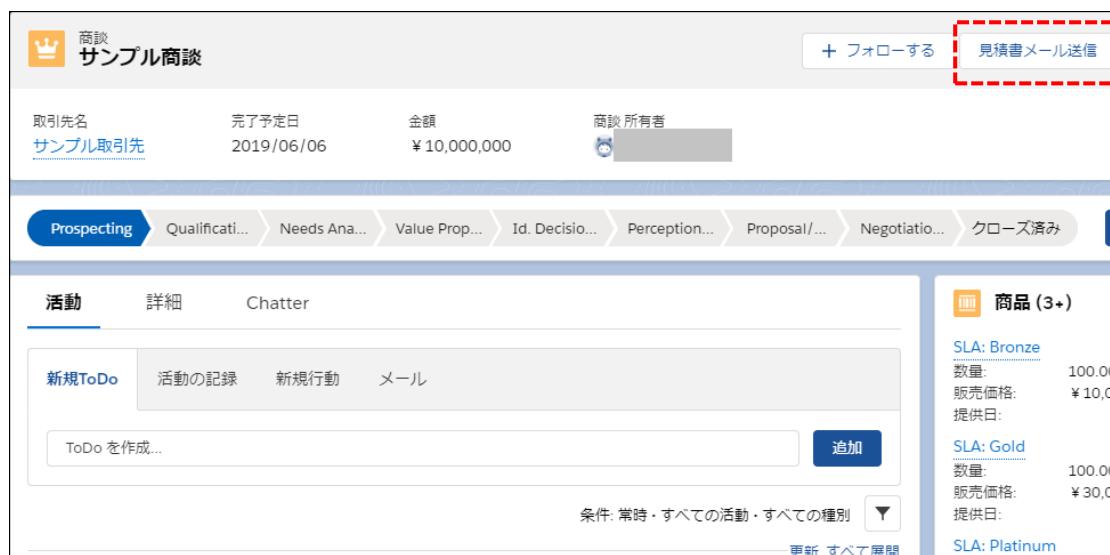
10. レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



11. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。

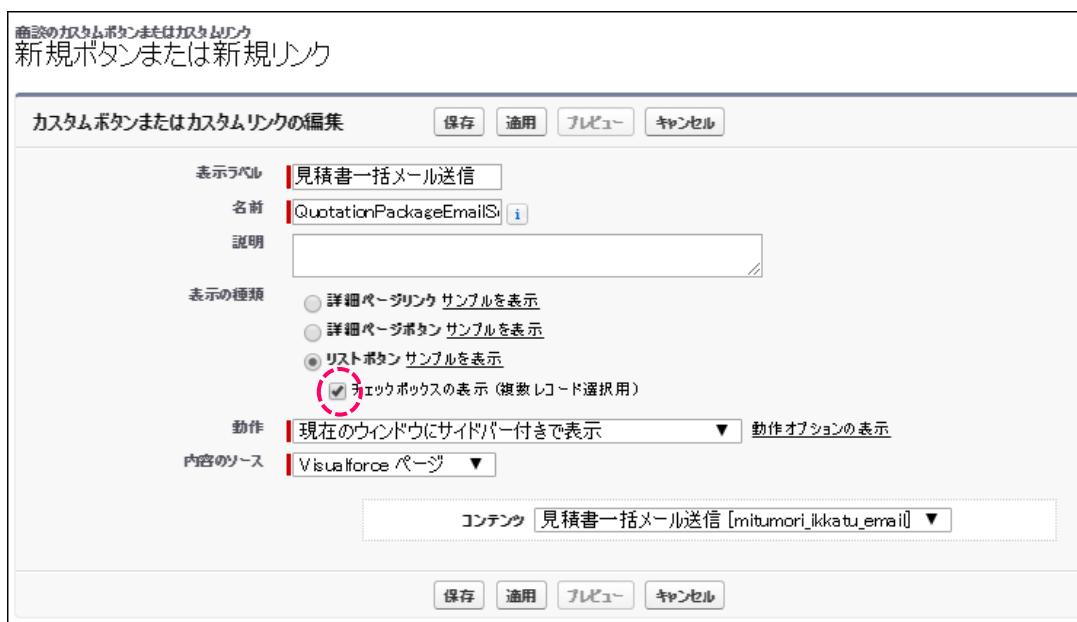


12. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。



## 5.2 リストページにメール送信アクションを配置する

1. [こちらのページ](#)より、「(Connector) Lightning 用リストビューページ向けボタン.txt」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルの内容を以下のように書き換えます。
  - ・3行目の『オブジェクト名』を、ボタンを置くオブジェクトの API 参照名に変更
  - ・46行目の『メールに添付するテンプレート名』を、帳票テンプレート名に変更
  - ・87行目の『メールテンプレート名』をメールテンプレート名に変更
3. 詳細ページのメール送信アクション 3~6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



### 表示ラベル(例)

見積書一括メール送信

### 名前

QuotationPackageEmailSending

### 表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

### 動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

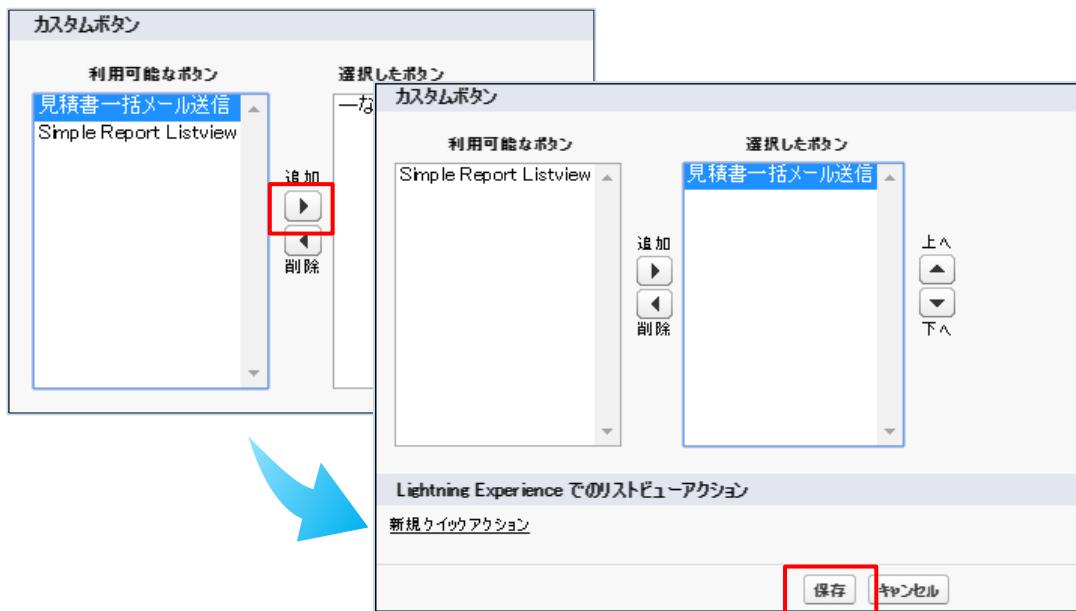
### 内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

4. 設定>オブジェクトマネージャ>商談画面の[検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。

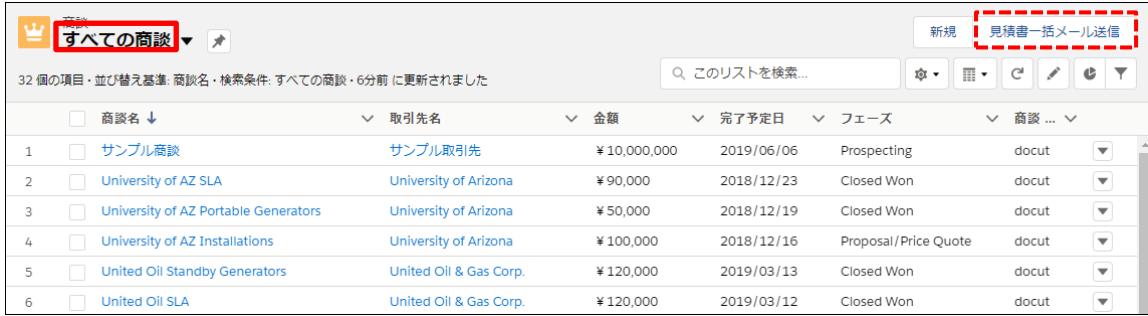


5. 2で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。

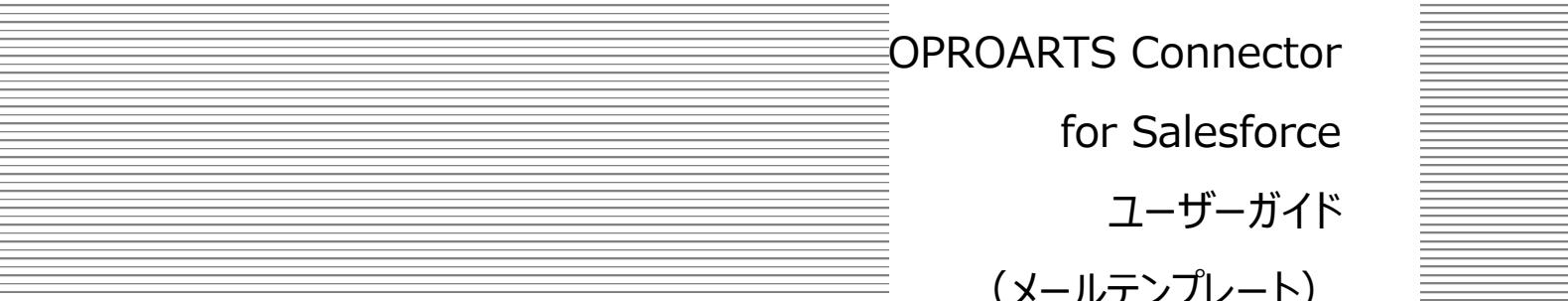


6. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



32 個の項目・並び替え基準: 商談名・検索条件: すべての商談・6分前 に更新されました							新規	見積書一括メール送信
	□ 商談名 ↓	▽ 取引先名	▽ 金額	▽ 完了予定日	▽ フェーズ	▽ 商談 ...		
1	□ サンプル商談	サンプル取引先	¥10,000,000	2019/06/06	Prospecting	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>
2	□ University of AZ SLA	University of Arizona	¥90,000	2018/12/23	Closed Won	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>
3	□ University of AZ Portable Generators	University of Arizona	¥50,000	2018/12/19	Closed Won	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>
4	□ University of AZ Installations	University of Arizona	¥100,000	2018/12/16	Proposal/Price Quote	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>
5	□ United Oil Standby Generators	United Oil & Gas Corp.	¥120,000	2019/03/13	Closed Won	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>
6	□ United Oil SLA	United Oil & Gas Corp.	¥120,000	2019/03/12	Closed Won	docut	<input type="button" value=""/>	<input type="button" value=""/>



**OPROARTS Connector  
for Salesforce  
ユーザーガイド  
(メールテンプレート)**